

食育だより





山手幼稚園 食育担当 伊島



ようやく秋らしい気候になってきましたね。

秋といえば食欲の秋です・・・・・!

食欲の秋を迎え今回は食事と歯の関係についてお伝えしてみます。

食事は、誰もが楽しく笑顔になる瞬間ですね♥

食欲の秋でもありますが、10月は運動会のあるスポーツの秋でもあります。 栄養バランスの取れた食事を正しい姿勢でよく噛んで食べる習慣も身につけて







私たちが生涯食事をとる回数を考えた事がありますか?

人間が80歳までに1日3回の食事をすると仮定した場合は、なんと87,600回もの食事をとることになるそうです。

次に、食事をする際に「噛む」回数は一口につき何回以上噛むことが理想とされているかご存じですか?

現代人の噛む回数は10~20回と言われていますが、30回以上噛むことが理想とされています。

食事を良く噛む事で、その食材の栄養価等々の吸収も良く更には味覚の発達に も繋がり口の問りの筋肉を使うことでアゴの発達を助け、表情が豊かになり言葉 の発達にもつながります。

このように良く噛むことは、健康な体作りにはとても大切なことなんです。

「食事はよく噛んで!

ゆっくり味わって食べましょう!」決して大人(親)の都合で「**早く食べて!**」「**早く食べなさい!**」は禁物です。

しっかり噛んで食べる習慣を私たち大人が率先して行いましょう。





「噛めること」・・・って・・・なぜ大切なんでしょう?

自分の歯で美味しく食事が食べられることは**「生きる力」**に直結してきます。 では、しっかり噛むことで何が良いのでしょうか?

良く噛むことで 唾液が消化を 助けてくれる



良く噛むことで 脳が良く働き顎 の発育にもなる

虫歯を防ぎ更に は言葉の発音も よくなる

抗菌作用

肥満予防につ ながるり 味覚の発達に もなる

消化を助ける

(消化酵素のアミラーゼやリパー ゼが働く) 再石灰化

(酸によって溶けた歯の表面を修 復する)

緩衝能

(かんしょうのう) 食べ物などによっ て酸性になったお 口の中を中和する 唾液の成分には、大切な 役割があります。

唾液の働きは?

粘膜保護作用·潤

お口の中の粘膜が傷つかないよう

滑剤

にする

自浄作用

食べカスを洗 い流す







◆ キッチン(年中組用)

◆ 座卓(年中組用)

















